



歌浦っ子だより (学校だより) №12

「やさしい心 夢かがやく 歌小の子どもの育成」

令和5年6月28日 文責:校長 泉 清一

授業参観と懇談会への参加、ありがとうございました

6月26日(月)、授業参観、ながさきファミリープログラム、懇談会を行いました。大変お忙しい中、保護者の皆様の多数の参観、ありがとうございました。

6月は、「命を見つめる強調月間」で、今回の道德の授業は、「命」を中心としたテーマで授業を行いました。

- 1年生: ぼくのあさがお
- 2年生: たんじょう日
- 3年生: 命のつながり
- 4年生: 走れ江ノ電、光の中へ
- 5年生: クマのあたりまえ
- 6年生: 命の重さは、みんな同じ
- なかよし: 家族のいい所を見つけよう



自分の命はもちろんのこと、友達の命、家族の命、そして動植物の命など、各学年に応じた授業を行いました。それぞれの学年で、「命」についてよく考えて、自分の意見を発表していました。今後も「命」の大切さを子どもたち共に考え、「命」を大事にする子どもたちの育成を行っていきます。

いじめについて考えた「ながさきファミリープログラム」!

道德の授業参観後、保護者と教職員が体育館に集まり、「ながさきファミリープログラム」を行いました。「いじめ防止とより良い対応」というテーマで、1グループ5人でワークショップを行いました。

まず、あなたが思う・考える「いじめ」ってどんなこと?から始まり、自分が思う・考える「いじめ」を付箋紙に書き、グループで確認しました。

次に、同じ情報が4つ伝えられ、その4つの情報を元に、「絵」を描きました。同じ4つの情報なのに、絵は、それぞれ違っていました。他の人が描いた絵と自分が描いた絵の違いや感じ方の違い、考え方の違いを知ることができました。

子どもたちのけんかやいじめの問題も、まずは、お互いを責めるのではなく、原因や要因を探り、子どもの心を一番に考え、親として、人として考え、振る舞うことが大切であります。その場の感情に流されず、しっかりと背景を見極める力が必要だと感じました。

最後に、「クマモンの教え」を教えてくださいました。ファシリテーターの森田さん、岩崎さん、久野さん、ありがとうございました。



クマモンの教え

読めてあげると、子どもは 自分も大切にすようになるんだモン
褒めてあげると、子どもは 元気になるんだモン
励ましてあげると、子どもは 勇気が出るようになるんだモン
聞いてあげると、子どもは 素直な子になるんだモン
任せてあげると、子どもは 責任を持つようになるんだモン
公平に扱われると、子どもは 平等の意味を考えはじめるんだモン
厳しき中で、子どもは たくましさを感じ取るんだモン
叱責とされながら、子どもは 大人になっていくんだモン
助け合いながら、子どもは 思いやりの心を身につけるんだモン

作: 三輪幸三

クマモンの子どもは、家庭や地域に温かく見守られながら、大人になっていくんだモン